# 時事新報


時事新報定價

一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓六十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇東京十五區內並ニ橫濱區內ニ限リ配達料共〇前記東京橫濱ヲ除クノ外日本國內並ニ海外郵便萬國(歐洲諸國等)ヘ御送ノ郵便稅ハ一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢ノ割ヲ以テ前金ニテ申請候事

時事新報廣告料(前金)

〇二日以上六日間以內一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金八錢、十一行ヨリ三十行迄一行ニ付一日分金七錢、三十一行ヨリ五十行迄一行ニ付一日分金六錢五厘、五十一行以上幾行ニテモ一行ニ付一日分金六錢(但シ六日間以上掲載ノ分ハ定價一割引、十五日間以上同斷同一割五歩引、三十日間以上同斷同二割引)

〇一日限廣告一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金十錢、十一行ヨリ三十行迄同金九錢、三十一行ヨリ五十行迄同金八錢、五十一行以上同金七錢(但書)本紙廣告料一日限リ掲載ノ分改正シ三月一日ヨリ右ノ通計算致候但二日間以上掲載ノ分ハ從前ト少シモ異ナルコトナシ

公報

東京圖書館

〇內務省達甲第十四號

聲視廳府縣

今般第十一號公達ヲ以テ規定メラレ候ニ付テハ當省ヘ差出スヘキ神社寺院費警部給與在府縣獄囚徒費警察費營繕土木費豫算ノ儀ハ十九年度以降前年度四月三十日限リ(十九年度ハ六月三十日マテ延期ス)其地發遣各正副二通差出スヘシ此旨相達候事

但警部給與並ニ在府縣獄囚徒費整理科目(神社寺院費ノ分ハ追テ達ス)之儀ハ左表之通心得ヘシ

(整理科目表略ス)

明治十八年五月十五日　內務卿　伯爵松方　正義

〇工部省告示第十七號

電信條例第二十五條第二十六條ニ依リ電信切手ノ賣戻ヲ爲ス可キ分局ハ當分左ノ十八箇所トス

西京電信分局　神戶電信分局　橫濱電信分局

長崎電信分局　國絡電信分局　新潟電信分局

名古屋電信分局　廣島電信分局　鹿兒島電信分局

德島電信分局　高知電信分局　松江電信分局

赤間關電信分局　金澤電信分局　秋田電信分局

仙臺電信分局　札幌電信分局　根室電信分局

右告示候事

明治十八年五月十五日　工部卿　伯爵佐々木高行

〇工部省告示第十八號

從前鐵場ノ增借區ヲ許可スルトキハ新ニ證券ヲ下付シ來リ候處自今原證券ニ其坪數ヲ加書シ下付スヘシ候條增借區ヲ願出ル者ハ願書ニ原證券幷ニ原借區增借區ヲ區別シタル一紙ノ測量圖ヲ添ヘ差出スヘシ從前增借區ノ許可ヲ得タル者ハ此際更ニ右手續ヲ爲スヘシ

但增借區滿年ハ證券裏書ノ月日ヨリ起算上納スヘシ

又增借區ハ原借區ノ期限ニ終ルモノト必得ヘシ

右告示候事

明治十八年五月十五日　工部卿　伯爵佐々木高行

敍任

〇明治十八年五月十四日

敍從一位

東京商業學校教授兼幹事從七位　成瀨　正忠

任東京商業學校幹事兼教授

## 時事彙報

### 日本ノ稅法ハ農民ニ偏重ナラズ

民間ノ疲弊各業不景氣ノ有樣ハ我輩ノ時々報道スル通リニシテ目前差シ掛リタル國ノ大難ナリ既ニ人爲ノ法ヲ以テ此大難ヲ招キタルモノナラバ又人爲ノ法ヲ以テコレヲ救フノ工風モアルベク兎ニ角ニ袖手坐視ヲシテ天運ノ自然ニ回リ來ルヲ待ツベキモノニアラズトハ我輩ノ常ニ論辨スル所ナリ識者アリ曰ク日本ノ稅法ハ偏重ナルガ故ニ遂ニ今日ノ如キ農民ノ疲弊ヲ來タセリ依テ今コレヲ救フノ法ハ先ツ地租ヲ減シ其分ヲ他ノ雜稅ニ課シ以テ大ニ農民ノ負擔ヲ輕フコト在ルナリト方今日本中央政府ノ國稅七千萬圓府縣ノ地方稅一千六百萬圓三種ノ租稅合シテ一億零四百萬圓ニシテ此內土地ヨリ取立テタル金額ハ國稅ニ四千三百萬圓地方稅ニ九百萬圓協議費ニ一千萬圓三種合計六千二百萬圓ノ內地ノ農民ガ負擔スル各種租稅ノ全額一億零四百萬圓ノ內ニテ地租ヲ減スル丈ケノ分ヲ他ノ雜稅ニ課スルトキハ其分ノ六ハ惡ク土地ニ就テ徵收スルモノナリトノ一事ヲ見テ直ニ租稅ノ負擔ハ農民ニ偏重ナリト斷スルコトヲ得ザルノミナラズ其肝ヲ潰スノ大ナルモノアリ日本ノ都市ハ此百十九箇所ニ限ラズ尙ホ二千三百萬圓ノ內ニ幾人カ商工民ノ大數ハ前記一百十九箇所ノ都市ニ住シテ農業ニ從事セザル商工民ノ大略七八百萬人アリト假定シテ決シテ少ナキニ失セザルベシ此ノ計算果シテ不當ナラズトセバ日本國民ノ中五人ニ一人丈ケハ商工民ニシテ他ノ四人ハ皆農民ナリトス知ルベシ今日本ノ人口三千七百萬ニテ一億零四百萬圓ノ租稅ヲ拂フトスレバ一人ノ稅額二圓八十一錢餘ニ當ルコレヲ全國ノ市民七百十九萬圓乃至二千二百五十萬圓ノ商工民ノ負擔スベキ一歲ノ稅額トス又此二圓八十一錢餘ヲ全國ノ農民二千九百萬人ノ一部分ヲモ負擔スルノミナラズ更ニ他ノ商工民ノ安逸ニ引換ヘテ農民ノ負擔ヲ增加シ以テ全國ノ不景氣ヲ救ハント欲スルガ如キハ自己ノ肉ヲ割キテ他人ニ與ヘ自己ノ骨ヲ削リテ他人ニ附スルニ異ナラズ

### 雜報

〇位階被進　正二位柳原光愛氏は一昨十四日特旨を以て位階を進められより

〇ヨング公使長崎に着す　淸國駐在米國全權公使ヨンヲ・ラッセル　ヨング氏は本月九日玄海丸にて上海より長崎へ著し米國領事館に止宿せり同氏の長崎滯留は多分一週間ならんと云ふ

〇マイヤー氏　今度海軍省より雇入れとなるべき文部省雇英國人マイヤー氏は兵學校の教師に充るといふ

〇出張仰付らる　大藏四等技師矢吹亨氏は一昨十四日大藏省に於て御用有之栃木縣下絹糸製造所へ出張仰付けられたり

〇セヽール　バシヤ　が美人に執へられて船にとぢ籠められたる由は既に記載せしが同人は二人の子と一人は甥と外に二名の婦及人と共に英國傳令艦アイリス號にて三月三十日シブラルタルに着したるに付英國官吏は之を同地の知事の別莊へ送り家屋庭園は周圍へ柵欄を設けて晝夜共に〆切となし尉官一名下士官七名兵卒若干人をして之を守らしむるよし但しバシヤ以下の四人は衣食其他諸般の手當は不足なくそへ與ふる由なり又三月三十日英國下院議員にて外務大輔フヰツモリー卿はホーランド氏の問ふ答へてセヽールバシヤは當分の內シブラルタルに拘置する積なれ共之を審問する等の事はなさゝる見込なりと云ひしよし

〇公使館の語學校　永田町なる淸國公使館內に語學校にて今度佛、獨兩國の學を教授する筈にて我國より留學生徒十二名を雇入れしが近々其本國より來着もるよし

〇幼稚園　芝公園內に設置せし芝、麻布兩區有志者の創立せし幼稚園の開園後退入園兒童は增加して已に八十三名に及びたるよし

〇廢稅の巢窟　い治外法權ありとの世人の常に口にする所にして先頃之が地居留の或る外國人が酒類製造に着手したりとの風說ありしと今更新潟よりの報によれば同港在留の淸國人い近來頻りと酒類を釀造するに治外法權の下に立つ淸國人なれば其釀造れ酒類と一錢の稅をも課せらるゝことなく隨て非常の廉價に賣出すより商業日を逐ふて盛大に赴き其燒酎の如き現に北海道


驛遞局認可

明治十八年五月十六日
(西曆一千八百八十五年)
土曜日
第九百七十號
日曜日休刊